

日本経済新聞

2月14日

金曜日

発行所 日本経済新聞社
東京本社 電話(03)3270-0251
〒100-8005 東京都千代田区大手町1-3-7
大阪本社 電話(06)7639-7111
名古屋支社 電話(052)243-3311
西部支社 電話(092)473-3300
札幌支社 電話(011)281-3211

シモハナ物流、技術磨く専用施設

配送車の運転 新米ケア厚く



食品向け物流のシモハナ物流(広島県坂町)はドライバー経験のない中途採用者の育成に力を入れている。2021年3月までに8千万円を投じ、運転技術を学ぶための専用施設を設ける。物流業界は人手不足で経験者の獲得競争が激しく、同社は年間の中途採用者450人のうち、未経験者が3割を占める。手厚い教育で入社直後の事故を防ぎ、定着を促す。

坂町にある同社の物流センター内に、専用のコースや教室を備えた教習所を設ける。これまで新

事故での早期離職 防ぐ

人の運転研修は本社の敷地内でコーン標識を置くなどして行ってきたが、専用設備ではより練習環境を整え、実技の回数も増やす。

教習所での研修後は、西日本や関東などに約50カ所ある配属先の物流センターでそれぞれ指導する。ドライブレコーダーの映像を本社で解析し、安全に運行できると判断して初めて独り立ちさせる。教習は3泊4日、物流センターでの指導は1〜3カ月程度を見込む。

初期の研修を強化するのは、入社直後の事故が最も多いからだ。同社で起きた全ての事故のうち、入社1年未満の社員が起したものは全体の4割にのぼる。そのうち、ドライバー未経験者によるものが63%という。

中途採用における未経験者の割合は10年前は1割未満だったが、今では3割を占める。製造業の工場勤務や、一般企業の総務や営業などから転身する例など様々という。

未経験者の採用が増える背景には、業界の人手

不足がある。厚生労働省によると、19年12月時点の「自動車運転の職業」(パート除く)の有効求人倍率は3・38倍。インターネット通販の普及による荷物量の増加に対し、運転手の確保が追いついていない。

シモハナは自社の物流センターからスーパーやコンビニエンスストアへの短距離配送が中心で、泊まり勤務がないのが特徴。使つのが3〜4人の小型トラックが中心なことも、未経験者にとってハードルが低いという。

新たな物流センターの稼働などで、中途採用の人数もこの5年で1・5倍に増えた。

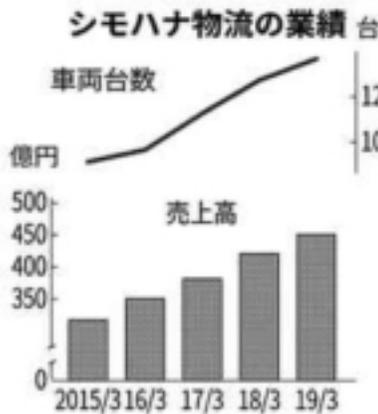
入社直後の事故は早期離職の原因にもなるた

め、初期の事故を防ぐ重層的に回って運転を指導する教官には警察OBを採用しているが、4月から役員は「採用競争に勝つには、教育の充実など待遇の良さをアピールしなければいけない」と話す。

各物流センターを定期的に安全運行をサ

ポートする。カメラによる警報などで追突を防止するシステムを全ての約1500台のトラックに搭載する。一連の施策を通じ、21年3月期に事故件数をこれまでより4割減らすことを目指す。

(河野真央)



教育体制の充実をアピールして人手を確保する